

令和4年9月29日

安曇野市教育委員会

令和4年9月定例会

会 議 議 案

安曇野市教育委員会

<b>議案第1号</b>	教育部 文化課
令和4年9月29日提出	(課長)山下 泰永 (担当係長)逸見 大悟

タイトル	安曇野市誌編さん専門調査会（考古部会（原始・古代））調査員の選任について		
決定を要する事項の内容	考古部会（原始・古代）調査員の選任について		
要旨	安曇野市誌編さん専門調査会設置要綱に基づき、原始・古代編の調査・執筆等を進めるため、考古部会（原始・古代）の調査員を選任するものです。		
説明	1 任期 2年（令和4年10月1日～令和6年9月30日） 2 交付日 令和4年10月1日 3 選任する考古部会（原始・古代）調査員		
	氏名	所属等	
	関係した遺跡		
	白居 直之	安曇野市教育委員会	穂高古墳群
	大澤 慶哲	元明科町教育委員会	ほうろく屋敷遺跡、明科廃寺、潮古墳群
	島田 哲男	元大町市教育委員会	縄文時代の遺跡
	土屋 和章	安曇野市教育委員会	安曇野市内の遺跡
	寺島 俊郎	安曇野市教育委員会	堀金小学校付近遺跡、矢原遺跡群
	原 明芳	豊科郷土博物館長	古代の遺跡
	百瀬 新治	元豊科郷土博物館長	堀金小学校付近遺跡
	山下 泰永	安曇野市教育委員会	矢原遺跡群、穂高古墳群、他谷遺跡
	山田 真一	安曇野市役所	葛蒲平・上ノ山窯跡群、町田遺跡
	4 根拠【安曇野市誌編さん専門調査会設置要綱抜粋】 （設置） 第1条 安曇野市誌編さんに関する調査・執筆等の実務を的確かつ効率的に行うため、専門調査員で構成する安曇野市誌編さん専門調査会（以下「調査会」という。）を設置する。 （専門調査員） 第2条 前条に規定する調査会の専門調査員は、安曇野市市誌編さん計画に沿って学識経験者の中から安曇野市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱又は任命する。 （任期） 第3条 専門調査員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。 （部会） 第4条 調査会に専門調査員3人以上で構成する次に掲げる部会を安曇野市市誌編さん計画に沿って置く。 (1) 民俗部会 (2) 考古部会 (3) 自然部会 (4) 近現代部会 (5) 中近世部会 (6) 地域資料調査部会		

<b>議案第2号</b>	教育部 各課
令和4年9月29日提出	

タイトル	共催・後援依頼について																									
決定を要する事項の内容	教育委員会の共催・後援依頼についての協議																									
要旨	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">学校教育課</td> <td style="width: 10%;">共催</td> <td style="width: 10%;">1件</td> <td style="width: 10%;">・後援</td> <td style="width: 10%;">0件</td> </tr> <tr> <td>生涯学習課</td> <td>共催</td> <td>2件</td> <td>・後援</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>文化課</td> <td>共催</td> <td>0件</td> <td>・後援</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>子ども家庭支援課</td> <td>共催</td> <td>0件</td> <td>・後援</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: right;">(詳細 別紙)</td> </tr> </table>	学校教育課	共催	1件	・後援	0件	生涯学習課	共催	2件	・後援	3件	文化課	共催	0件	・後援	3件	子ども家庭支援課	共催	0件	・後援	1件	(詳細 別紙)				
学校教育課	共催	1件	・後援	0件																						
生涯学習課	共催	2件	・後援	3件																						
文化課	共催	0件	・後援	3件																						
子ども家庭支援課	共催	0件	・後援	1件																						
(詳細 別紙)																										

**議案第5号の共催・後援依頼に関わる申請書は、個人又は法人に係る情報が記載されているため、非公開といたします。**

○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】  
(定義)

第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。

- (1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。
- (2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。
- (3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。

(審査基準)

第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。

- (1) 国又は地方公共団体
- (2) 学校又は学校の連合体

2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。

- (1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。
- (2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。
- (3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。
- (4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。
- (5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。
- (6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。

(教育長の専決範囲)

第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。

- (1) 前条第1項に規定する行事
- (2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)

学校教育課 共催・後援台帳(令和4年度9月定例会協議事項)

№	英付日	所管	年度	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	発日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	R3	R2	R1	所管課意見
25	R4.8.28	教育課	R4	令和4年度長野県中学校新人大会(中道地区大会)バスケットボール、バレーボール、サッカー、軟式野球、ソフトテニス、卓球、茶道、剣道、新体操	長野県中学校体育連盟(会長、須藤 敦)	長野県中学校体育連盟 型/長野県教育委員会 会/長野県市町村教育委員会 会連絡協議会	共催	教育の一環として行ってきている部活動の練習の成果を披露する場として、また中学生の心身の健全な発達・発達、体力の向上に貢献できるため	8月22日 令和4年10月8日(土)～ 令和4年11月30日(水)	-	-	-	-	-	会場	スポーツ活動を通して、中道地区中学生の心身の健全な発達・発達を支援するため	参加費:1人200円 バスケットボール:10/22(土)、10/29(土)、11/5(土)、11/8(日) バレーボール:11/5(土)、11/19(土)、11/20(日) サッカー:10/29(土)、10/30(日)、(予備日:11/5(土)) 軟式野球:10/15(土)、10/16(日)、10/22(土)、10/23(日)、(予備日:10/29(土)) ソフトテニス:11/5(土)、11/8(日)、11/15(土)、11/16(日) 卓球:10/15(土)、10/16(日)、10/22(土)、10/23(日) 茶道:10/15(土)、10/16(日)、10/22(土)、10/23(土)、11/26(土) 剣道:11/27(日) 新体操:10/23(土)、10/30(日) 新体操:10/22(日)	-	○後援	○後援	基本第3条第2項により可

教育部生涯学習課共催・後援台帳(令和4年度9月定例会協議事項)

定例 会議 開催 日(報告) 月	No	受付 日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催内容	R3	R2	R1	所管課 見
9	14	10/22	社会教育課	第11回安野市 囲碁・将棋大会 囲碁・将棋大会	安野市囲碁・将棋大会 実行委員会 小西山 忠 安野市囲碁・将棋大会 実行委員会 柴 崇	安野市囲碁・将棋大会 実行委員会	共催	安野市の公民館施設を借りて大会を開催する。囲碁・将棋を通して市内在住の親睦・交流を図る。	8月22日	令和4年11月20日(日)	-	-		月 日	安野市公民館	囲碁の部、将棋の部に分かれ試合。参加料:1人1,000円(高校生以下500円)	-	-	○	生涯課3 課第2項 により可
9	15	10/23	社会教育課	令和4年度JSPO 公認スタートコ 子(2)スポーツ少年 団)奨励講習会	理事長 林 泰章	公益財団法人 安野県スポーツ 少年団	後援	地域のスポーツ、スポーツ少年団活動の発展に寄与するため。	8月25日	令和4年10月22日、 11月12日、12月10日、令 和5年1月21日	-	-		月 日	安野市公民館 他	講演 安全なスポーツ環境の構築 日本スポーツ協会から、スポーツ指導者制度をはじめ、協会、スポーツ少年団をはじめ、協会、奨励講習会、スポーツ少年団、運動部活動等において、必要となる知識、技術に基づき、安全なスポーツ環境を構築する「スタートコ子」の意義を目的に、日本スポーツ少年団と協賛し、本県スポーツ少年団との共催により開催する。	-	-	-	生涯課3 課第2項 により可
9	16	10/23	社会教育課	第71回長野県 断崖伝説走	代表取締役 社長 小坂 社太郎	信濃毎日新聞 社 他	後援	より多くの方に周知したいため。	8月29日	令和4年11月20日(日)	-	-		月 日	長野市・信 徳本社前 一宮谷の 役所 総距離 117.35km	長野県内を117.35km、16区間を、本市対抗19チームが競う。 参加料:1チーム(30名)500,000円	-	-	-	生涯課3 課第2項 により可
9	17	10/31	社会教育課	令和4年度 安野 市企業人経営 奨励賞	会長 小岩 清志 会長 井 隆	安野市企業 人経営奨励賞 委員会	共催	教育委員会との共催により安野市企業人経営奨励賞委員や人権教育推進委員、労働委員など広く周知を図るため。	9月9日	令和4年11月8日(火)	-	-		月 日	安野市公民館 大ホール	講演会 「共に働き、共に生きる社会をめざして」～LGBT当事者の立場から～ 小泉 凉さん(ダイバーシティ・イノベーション) 代表)	○	○	○	生涯課3 課第2項 により可
9	18	10/31	社会教育課	「野城も人も地球も元気に」を つなぐ安野市 生涯学習推進 協議会	太田 真理子	むぎむぎクラブ	後援	小中学生を中心に多くの親子に参加してもらうため。	9月16日	令和4年11月6日(日)	-	-		月 日	信濃公民館 多田井地区の 井 畑	吉田俊道先生によるワークショップ 「生涯学習推進協議会」	-	-	-	生涯課3 課第2項 により可

教育部 文化課 共催・後援台帳(令和4年度 9月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	開催日	賞状	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	R3	R2	R1	所管課意見
41	R4.8.25	文化	ファミリーコンサート ～歌のおねえさん with東京アーツ ツ合奏団～	有限会社東京 アーツツ管 楽事務所 加藤美穂	有限会社 東京アーツ ツ管楽事務所	後援	学校や保育園幼 稚園へチラシの 配布を、たくさ んの子どもたち へ情報を届ける ため。	10月1日 (土)14時 開演					松本市音楽 文化ホール ザ・ハーモ ニーホール	本物の生の音楽をもっと気軽に 聴く、古くから歌い継がれている 日本の歌のコンサートに家族で 行けるよう、学校などから関心を 促進する。	歌のおねえさんと9名の楽器の生 演奏に合わせて、手話で手や体 を動かすなど、家族で楽しめる参 加型のコンサート。子どもたち にとっては馴染みのある童謡や音 楽の授業の中で歌ったことがあ る歌を楽しめ、大人にとっても昔 懐かしい名曲から～迫力ある合 奏が盛りだくさん。 小さいころに生演奏を耳で聴き、 楽器の音を身体で感じる経験がで きる。子どもの心と感性を育てる 芸術鑑賞。楽器編成を変えな がら楽曲の魅力だけでなく、楽器 それぞれの特徴も最大限に引き 出す演奏を披露いたします。 入場料 一般2,500円/中学生以 下1,000円/0～1歳 保護者様上 に限り無料	-	-	-	基準 第2条 第2項 により 可
42	R4.9.12	文化	市民天体観望会 「星月食と天王 星をみよう」	フォーマルハウ ト(大町エネル ギー博物館友 の会)	フォーマル ハウト(大 町エネル ギー博物 館友の会)	後援	市民の皆様に関 知するため。	11月8日 (火)午後6 時～9時					礪山公園研 成ホール(研 修室2)	星月食と天王星が月に隠され る様子、木星、土星などを望遠鏡 で観望いただき、宇宙への関心 を深めていただく。	天体観望会 天体教室 入場料参加料 無料	-	-	-	基準 第2条 第2項 により 可
48	R4.9.8	文化	おじさん達のコン サート第28回	おじさん達のコ ンサート	おじさん達 のコンサー ト	後援	公共施設などに 開催案内フ ォーポスターの掲 示をして多くの 方に周知をする ため。	10月15日 (土)					松本市音楽 文化ホール	吹奏楽(演奏曲:センチュリア、土 を向いて歩こう、ジャバニーズ、グ ラフティ)	吹奏楽(演奏曲:センチュリア、土 を向いて歩こう、ジャバニーズ、グ ラフティ) 入場料:無料	-	-	-	基準 第3条 第2項 により 可

教育部 子ども家庭支援課 共催・後援台帳(令和4年度9月定例会協議事項)

№	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	尊決	理由	承認	承認(尊決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	R 3	R 2	R 1	所管課 意見
18	18年9月15日	原董書 少年係	防災体験とお下がりがりユース会	高山寺 本多 徹	高山寺	後援	子どもたちに防災への学びを通して自ら命を守る行動を促すことを目的とし、子どもたちも参加し、子どもたちも参加し、子どもたちのために循環したい。	9月15日	令和4年 11月27日 (日)	-	-		月 日	高山寺	①災害時、自ら命を守る行動ができるように防災意識を高め、知識を学ぶ。 ②リユースでゴミの減量と循環。	①防災への備え(消火体験、消防車の乗車体験、避難所体験) ②おさがりがりユース会 ③アルミ缶リサイクル ④洋服の修理 ⑤子ども食堂(お弁当配布)	-	-	-	基準第 3家第 2項に より可

<b>議案第3号</b>	教 育 部 子ども家庭支援課
令和4年9月29日提出	(課長) 西澤 弘修 (担当) 古畑 瑞恵

タイトル	安曇野市放課後子ども総合プラン運営委員会委員の委嘱について
	委員の委嘱
要旨	<p>安曇野市放課後子ども総合プラン運営委員会設置要綱第3条により、別紙の者を「安曇野市放課後子ども総合プラン運営委員会委員」に委嘱するので報告します。</p> <p>【安曇野市放課後子ども総合プラン運営委員会設置要綱抜粋】</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この要綱は、市内の小学校及び児童館施設等を活用し、放課後の子どもたちの安全かつ安心な居場所を確保し、地域の協力を得て心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する安曇野市放課後子ども総合プランに基づく放課後対策事業（以下「事業」という。）の円滑かつ適正な運営方法を検討するため、安曇野市放課後子ども総合プラン運営委員会（以下「委員会」という。）の設置及び運営について、必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(組織)</p> <p>第3条 委員会は、委員25人以内で組織し、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱又は任命する。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 学識経験を有する者</li><li>(2) 教育関係者</li><li>(3) 福祉関係者</li><li>(4) 行政関係者</li><li>(5) その他教育委員会が必要と認める者</li></ol> <p>(任期)</p> <p>第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。</p> <p>○委嘱する者 別紙のとおり 18人 交付日：令和4年10月1日 任 期：令和6年9月30日まで</p>



## 令和4年度 放課後子ども総合プラン運営委員名簿

任期： 令和4年10月1日～令和6年9月30日

番号	氏名	よみがな	区分	備考
1	百瀬 美穂	ももせ みほ	学識経験者	安曇野市子ども会育成会連合会副会長
2	伊藤 可主也	いとう かずなり	学識経験者	安曇野市民生児童委員
3	山田 薫	やまだ かおる	学識経験者	安曇野市民生児童委員
4	松下 玲	まつした れい	教育関係者	穂高西小学校長
5	馬淵 勝己	まぶち かつみ	教育関係者	豊科東小学校長
6	宮下 智行	みやした ともゆき	教育関係者	放課後子ども教室保護者代表(明南小わいわいランド)
7	宮尾 志穂	みやお しほ	教育関係者	放課後子ども教室保護者代表(穂高西小わいわいランド)
8	坂楨 邦章	さかまき くにあき	教育関係者	社会教育指導員(明科公民館)
9	臼井 知	うすい とも	教育関係者	社会教育指導員(豊科公民館)
10	小林 繁安	こばやし しげやす	教育関係者	放課後子ども教室コーディネーター(穂高北小わいわいランド)
11	山口 敏夫	やまぐち としお	教育関係者	放課後子ども教室コーディネーター(堀金小わいわいランド)
12	相原 美成子	あいはら みなこ	教育関係者	児童クラブ保護者代表(穂高南児童クラブ)
13	加藤 公一	かとう こういち	教育関係者	児童クラブ保護者代表(南穂高児童クラブ)
14	上兼 裕	うえがね ゆう	福祉関係者	社会福祉協議会子育て支援係長
15	小林 啓孝	こばやし よしたか	福祉関係者	児童厚生員(豊科南穂高児童館)
16	片桐 大輔	かたぎり だいすけ	福祉関係者	児童厚生員(穂高北部児童館)
17	松澤 豊	まつざわ ゆたか	福祉関係者	児童厚生員(明科児童館)
18	新保 賀朗	しんぼ よしあき	行政関係者	障がい者支援課長

<b>報告事項 第1号</b>	教育部 学校教育課
令和4年9月29日提出	(課長) 太田 雅史 (担当係長) 高橋 弓枝

タイトル	私立高校に対する公費助成についての陳情について																																				
報告を要する事項の内容	陳情書提出についての報告																																				
要旨	<p>中信地区私学助成推進協議会から、私立高校に対する公費助成の陳情書が提出されたもの。</p>																																				
説明	<p>1. 陳情書の要旨</p> <p>(1) 私立高校への経常費補助金（生徒数分割）の継続を行っていただきたい。</p> <p>(2) 国・県の関係者に対して、就学支援金制度の拡充並びに経常費補助の増額、施設整備費の補助、授業料軽減補助の増額など、私学助成増額のための意見書をあげていただきたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【国・県向けの意見書要旨】</p> <p>① 私立高校への就学支援金制度の拡充並びに経常費補助の増額を行うこと。</p> <p>② 私立高校の教育条件改善のために施設、設備費の補助を行うこと。</p> <p>③ 私立高校の保護者負担を軽減するため学納金の補助を行うこと。</p> </div> <p>2. 令和4年度 中信地区私学助成推進協議会各校への助成状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学校名</th> <th style="text-align: center;">生徒総数</th> <th style="text-align: center;">市内在住生徒数</th> <th style="text-align: center;">安曇野市からの補助額 ※市内生徒1人×10,000円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松商学園高等学校</td> <td style="text-align: center;">1,32人</td> <td style="text-align: center;">172人</td> <td style="text-align: center;">1,720,000円</td> </tr> <tr> <td>松本第一高等学校</td> <td style="text-align: center;">635人</td> <td style="text-align: center;">83人</td> <td style="text-align: center;">830,000円</td> </tr> <tr> <td>松本国際高等学校</td> <td style="text-align: center;">1,236人</td> <td style="text-align: center;">111人</td> <td style="text-align: center;">1,110,000円</td> </tr> <tr> <td>エクセラシオン高等学校</td> <td style="text-align: center;">317人</td> <td style="text-align: center;">33人</td> <td style="text-align: center;">330,000円</td> </tr> <tr> <td>信濃むつみ高等学校</td> <td style="text-align: center;">447人</td> <td style="text-align: center;">74人</td> <td style="text-align: center;">740,000円</td> </tr> <tr> <td>東京都市大学塩尻高等学校</td> <td style="text-align: center;">864人</td> <td style="text-align: center;">56人</td> <td style="text-align: center;">560,000円</td> </tr> <tr> <td>松本秀峰中等教育学校</td> <td style="text-align: center;">245人</td> <td style="text-align: center;">25人</td> <td style="text-align: center;">250,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">5,070人</td> <td style="text-align: center;">554人</td> <td style="text-align: center;">5,540,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※助成対象生徒数は、令和4年5月1日基準日における在籍者  ※松本秀峰中等教育学校は、後期課程が助成対象</p>	学校名	生徒総数	市内在住生徒数	安曇野市からの補助額 ※市内生徒1人×10,000円	松商学園高等学校	1,32人	172人	1,720,000円	松本第一高等学校	635人	83人	830,000円	松本国際高等学校	1,236人	111人	1,110,000円	エクセラシオン高等学校	317人	33人	330,000円	信濃むつみ高等学校	447人	74人	740,000円	東京都市大学塩尻高等学校	864人	56人	560,000円	松本秀峰中等教育学校	245人	25人	250,000円	合 計	5,070人	554人	5,540,000円
学校名	生徒総数	市内在住生徒数	安曇野市からの補助額 ※市内生徒1人×10,000円																																		
松商学園高等学校	1,32人	172人	1,720,000円																																		
松本第一高等学校	635人	83人	830,000円																																		
松本国際高等学校	1,236人	111人	1,110,000円																																		
エクセラシオン高等学校	317人	33人	330,000円																																		
信濃むつみ高等学校	447人	74人	740,000円																																		
東京都市大学塩尻高等学校	864人	56人	560,000円																																		
松本秀峰中等教育学校	245人	25人	250,000円																																		
合 計	5,070人	554人	5,540,000円																																		

安曇野市教育長  
橋渡 勝也 様



2022年8月10日

中信地区私学助成推進協議会  
会長 東城 日出子  
事務局 信濃むつみ高等学校  
松本市南松本1-13-26  
TEL 0263-27-3700  
FAX 0263-27-2870

## 私立高校に対する公費助成をお願いする 陳 情 書

謹啓 貴職におかれましては、日頃、私立高校の振興のために格別のご理解ご支援を賜り深く感謝申し上げます。また、私学助成につきましてもご配慮賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当中信地区私学助成推進協議会〔松本国際高等学校・松商学園高等学校・松本秀峰中等教育学校・エクセラン高等学校・松本第一高等学校・東京都市大学塩尻高等学校・信濃むつみ高等学校で構成〕では、中信地区の私立高校への助成と国・県への意見書送付を要請する運動に取り組んでおります。

私学は独自の建学の精神に基づき、生徒の個性を育むことによって、学習・文化活動、スポーツ、地域への貢献等に大きな成果を上げてまいりました。2014年度より「就学支援金」制度が改正され、更に2020年度からは就学支援金制度が大幅に拡充され、年収590万円未満の世帯では授業料無償化が実現しました。

しかし、就学支援金の加算対象から外れてしまう年収590万円以上の世帯では、590万円未満の世帯と約30万円の学費負担の差があり、保護者の多くは公立と私学では学費の差は大きいと実感しているところでもあります。また、終息を見せない新型コロナウイルスの感染拡大による経済の鈍化により保護者の学費負担は深刻な状況が続いております。

私学助成の主体をなす国・県からの補助金増額の前進はみられるものの、特色ある教育活動を求めて子どもたちが通う学校には、施設の整備・拡充をはじめとする教育環境の改善が求められており、私立高校の経営は極めて厳しいものとなっております。このことは生徒減少期にあって一層強くなっており、私たち保護者を含む学校の自助努力だけでは対応しきれないのが現状であります。

安曇野市におかれましては、2011年度より私立高校等運営費補助金として再び予算を計上していただき深く感謝申し上げます。

今年度は安曇野市から中信地区私学7校へ 554名の生徒さんをお預かりしています。それぞれ自分の夢の実現に向けて学習をはじめ、部活動、生徒会活動等に励んでおります。

貴市の財政状況も引き続き厳しいところとは存じますが、公教育の一翼を担う私学振興のために、さらにもう一層のご理解ご支援を賜りたく、下記のとおり陳情申し上げます。

敬白

### 記

- 1 私立高校への経常費補助金（生徒数分割）の継続を行って下さい。
- 2 国・県の関係者に対して、就学支援金制度の拡充並びに経常費補助の増額、施設設備費の補助、授業料軽減補助の増額など、私学助成増額のための意見書をあげて下さい。

以上

中樞地区私学助成推進協議会  
 会長 東城 日出子  
 事務局 信濃むつみ高等学校  
 松本市南松本1-13-26  
 TEL 0263-27-3700  
 FAX 0263-27-2870

## 1 「意見書」の見本

右ページをご参照下さい。国宛・県宛の各例

## 2 「意見書」の送付先

国宛

内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣

県宛

長野県知事・長野県総務部長

## 3 「意見書」の内容についてのお願い

「国づくりは人づくり」の言葉のように教育の重要性は世界の共通認識となっています。公教育の一端を担う私立学校は、それぞれの建学の精神に基づき、社会の変化と時代の要請に即して教育改革を推進し、魅力と特色ある学校づくりに努めています。

2010年度より「高等学校就学支援金」政策が実施され、2020年度からは年収590万円未満の世帯で授業料無償化が実現しました。しかし年収590万円以上の世帯で家族構成により多子世帯では学費負担の深刻な状況が未だ続いており、多くの保護者・生徒が公立高校との学費格差をなくしてほしいと願っています。

また、長野県の公教育を支えてきた私立高校の経営は極めて厳しいものとなっております。さらに施設設備の整備の拡充等、教育環境の改善が強く求められており、これらへの取り組みは自助努力だけでは対応しきれない状況にあります。

そこで、

- (1) 私立高校への就学支援金制度の拡充並びに経常費補助の増額
- (2) 教育条件改善のための施設、設備費の補助
- (3) 保護者負担を軽減するために、授業料軽減補助の増額

以上の3点の項目をあげて戴きたく、よろしくお願ひいたします。

私学は独自の建学の精神に基づき、個々の生徒の個性を育むことによって、学習・文化活動、スポーツ、地域への貢献等に大きな成果を上げております。しかしながら、私学助成の主体をなす国からの補助金は一定の前進はみられるものの、生徒減少期の現在、私立高校の経営は極めて厳しいものとなっております。2010年度に「高等学校就学支援金」政策が実施され、私学に通う生徒にも「就学支援金」が支給され、昨年度からは年収590万円未満の世帯で授業料無償化が実現しました。しかし、就学支援金の加算対象から外れてしまいう年収590万円を超える世帯では、590万円未満の世帯と約30万円の学費負担の差があり、保護者の多くは公立と私学では学費の差は大きいと実感しています。

多様なカリキュラムを持つ私学は、子どもたちに大きな夢と可能性を与えてきています。その夢を経済的理由で諦めさせることは、保護者の立場からしますと断腸の思いであります。

公教育の一翼を担う私学振興のために、さらに一層のご理解ご支援を賜りたく、下記事項について実現されるよう要望するものであります。

## 記

- 1 私立高校への就学支援金制度の拡充並びに経常費補助の増額を行うこと。
- 2 私立高校の教育条件改善のために施設、設備費の補助を行うこと。
- 3 私立高校の保護者負担を軽減するため学納金の補助を行うこと。

よって、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

## 私立高校への公費助成に関する意見書(例) [県向け]

長野県の私立高校は、独自の建学の精神に基づき、個々の生徒の個性を育むことによって、学習・文化活動、スポーツ、地域への貢献等に大きな成果を上げております。しかしながら、私学助成の主体をなす県からの補助金は一定の前進はみられるものの、生徒減少期の現在、私立高校の経営は極めて厳しいものとなっております。2010年度に「高等学校就学支援金」政策が実施され、私学に通う生徒にも「就学支援金」が支給され、昨年度からは年収590万円未満の世帯で授業料無償化が実現しました。しかし、就学支援金の加算対象から外れてしまいう年収590万円を超える世帯では、590万円未満の世帯と約30万円の学費負担の差があり、保護者の多くは公立と私学では学費の差は大きいと実感しているところであります。

多様なカリキュラムを持つ私学は、子どもたちに大きな夢と可能性を与えてきています。その夢を経済的理由で諦めさせることは、保護者の立場からしますと断腸の思いであります。

公教育の一翼を担う私学振興のために、さらに一層のご理解ご支援を賜りたく、下記事項について実現されるよう要望するものであります。

## 記

- 1 私立高校への就学支援金制度の拡充並びに経常費補助の増額を行うこと。
- 2 私立高校の教育条件改善のために施設、設備費の補助を行うこと。
- 3 私立高校の保護者負担を軽減するため学納金の補助を行うこと。

よって、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

## 中信地区私学助成推進協議会について

### 設立趣意

中信地区の各市町村に私学助成を要請する活動は、学校経営者による松本市への陳情活動によって始まった。その後昭和52年より、中信地区私立高校5校の教職員で組織する『私学助成要求中信地区連絡会』(昭和60年『中信地区私学助成をすすめる会』と改称)による各市町村への請願署名活動も行われるようになってきた。PTAは私学助成活動の重要性を理解し、学校経営者と教職員それぞれに活動に対し協力を行ってきた。

これらの活動の結果は、市町村により助成方法の違いはあるものの、全国でも例のない中信地区全ての市町村で何らかの私学助成制度が確立されるに至った。

しかし、当時の私学助成額は十分とはいえず、増額が望まれていたが補助金抑制の動きのなかで私学助成も伸び悩んでいた。更に1991(平成3)年から始まる生徒急減期に向け、より一層の私学助成充実が必要とされていた。

それまで学校経営者と教職員それぞれの立場で私学助成活動を進めてきたが、市町村議会や行政側から、学校経営者と教職員が別々に行っている私学助成活動を一本化してほしいという要望と、「中信地区私学7校関係者が一丸となつての活動こそが必要である」という考えに基づき、学校経営者と教職員がそれぞれPTAの協力をえて行ってきた活動を一本化し、より強力な私学助成活動にしていきたいと『中信地区私学助成推進協議会』を発足し現在に至っている。

### 会の目的

中信地区私立高校への私学助成の充実を要請する署名活動またはPR活動により、各市町村への請願陳情を行う。

### 組織の構成と運営

- ・ 中信地区の私立高校理事者・管理者、保護者、教職員で構成する。
- ・ 代表者会議を置き、活動内容・予算・決算等を決定し、監査結果の報告を受ける。
- ・ 代表者会議は、各校3名(理事者・管理者、保護者、教職員代表)、事務局校は4名、計22名があたるとする。
- ・ 連絡会議を置き、代表者会議へ活動の提言をする。連絡会議は、各校の代表者1名以上で構成する。オブザーバーの参加も可能である。
- ・ 事務局校を置き、各校輪番制とする。事務局は、記録・会計を含む事務処理を行う。
- ・ 監事は、代表者会議構成員とは別の2名があたるとする。会計及び活動内容を監査し、代表者会議へ報告する。

### (1) 構成

会長	事務局校のPTA会長
副会長	次年度事務局校のPTA会長
〃	事務局校の校長
〃	事務局校の教職員
運営委員	会長・副会長校を除く5校のPTA会長
〃	副会長校を除く6校の校長
〃	事務局校・事務局次長校を除く5校の教職員
事務局長	事務局校の教職員
事務局次長	次年度事務局校の教職員
事務局	事務局校の教職員(注)事務局の員数は事務局に任せる
監事	前年度事務局校の事務局
〃	〃 教職員

### (2) 事務局校の輪番制

信濃むつみ(令和4年度)→松本国際(令和5年度)→松商学園(令和6年度)  
→松本秀峰(令和7年度)→エクスラン(令和8年度)→松本第一(令和9年度)  
→菊市大塩尻(令和10年度)

### 運営費用

各校の保護者より、年会費1人200円を徴収し、これを運営費にあてる。



令和4年度 私立高等学校運営費補助金一覧

補助金額 = 補助対象生徒数(A) × 10,000円

※補助対象生徒: 令和4年5月1日現在で安曇野市に住所を有する生徒

No.	住所	校名	校長名	生徒総数 (人)	補助対象生徒数(人)			補助金額(円) A × 10,000円	使途	備考	申請日	交付決定日	支払日
					合計(A)	全日制	通信制						
1	〒390-8515 松本市栗3丁目6番1号	学校法人 松商学園 松商学園高等学校	長野雅弘	1,326	172	0	13.0%	1,720,000	教育研究に要する経常的経費として		6月17日		
2	〒390-0303 松本市浅間温泉1丁目4番17号	学校法人 外語学園 松本第一高等学校	今井 秀幸	635	83	0	13.1%	830,000	教材費として		6月21日		
3	〒399-0036 松本市村井町南3丁目6番25号	学校法人 理知の社 松本国際高等学校	永原 経明	1,236	111	60	9.0%	1,110,000	教育研究経費として		6月17日		
4	〒390-0221 松本市里山辺4202	学校法人 松本昭和学園 エクスラン高等学校	西沢 宏	317	33	0	10.4%	330,000	学校運営費として		7月14日		
5	〒390-0832 松本市南松本1-13-26	学校法人 外語学園 信濃むつみ高等学校	水野 尚哉	447	74	0	16.6%	740,000	通信運搬費として		6月20日		
6	〒399-0703 塩尻市広丘高出2081	学校法人 五島育英会 東京都市大学塩尻高等学校	三浦 章	864	56	0	6.5%	560,000	教材費として		6月22日		
7	〒390-0813 松本市埋橋2丁目1番1号	学校法人 松商学園 松本秀峰中等教育学校	小高山 淳	245	25	0	10.2%	250,000	学習環境設備の充実のため	※後期課程のみ 対象	6月15日		
		計		5,070	554	503	10.9%	5,540,000					

<b>報告第2号</b>	教育部 生涯学習課
令和4年9月29日提出	(課長) 深澤 与志章 (担当係長) 遠藤 豊

タイトル	安曇野市コミュニティースクール事業 令和4年度 地域学校協働本部連絡会開催状況等について
決定を要する事項の内容	
要旨	令和4年度に新たに設置された地域学校協働本部連絡会の第1回の会議が終了しましたので、開催状況等の概要について報告します。
説明	<p>1 安曇野市コミュニティースクール事業概要</p> <p>学校と地域の連携・協働を強化することで「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現を図る事業として、令和4年度からスタートしています。</p> <p>(1) 関連組織</p> <p>① 学校運営協議会</p> <p>対象学校の運営及び当該運営への必要な支援に関して協議を行い、学校の運営の改善並びに生徒及び児童の健全育成に取り組めます。学校教育課所管。</p> <p>② 地域学校協働本部連絡会</p> <p>地域公民館を地域学校協働本部の核として、公民館活動、人材紹介、助言など地域コーディネーターのサポートを通じて学校と地域の連携を図る。生涯学習課所管。</p> <p>※地域学校協働活動：地域で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う活動。</p> <p>2 地域学校協働本部連絡会の運営と開催状況</p> <p>連絡会は、各地域公民館を拠点として、地域の中学校単位で組織します。</p> <p>令和4年度は学校の学期毎に会議を開催するこことし、各地域公民館で第1回連絡会が開催されました。※詳細別紙</p>



安曇野市コミュニティースクール事業 令和4年度 地域学校協働本部連絡会開催状況等について

1 開催状況

番号	地域公民館名	会議名称	開催日
1	豊科公民館	豊科南中学校区地域学校協働本部連絡会	6月28日(火)
		豊科北中学校区地域学校協働本部連絡会	7月4日(月)
2	穂高公民館	穂高地域学校協働本部連絡会	8月1日(月)
3	三郷公民館	三郷地域学校協働本部連絡会	6月7日(火)
4	堀金公民館	堀金地域学校協働本部連絡会	7月19日(火)
5	明科公民館	明科中学校区地域学校協働本部連絡会 ※第2回会議より明科地域学校協働本部連絡会に改称	5月11日(水)

2 各連絡会構成員及び第1回会議概要

(1) 豊科南中学校区学校協働本部連絡会

番号	所属	氏名
1	南小地域コーディネーター	大原 一人
2	南小地域コーディネーター	平林 栄司
3	南中地域コーディネーター	佐藤 百合子
4	豊科南小学校長	會田 義昭
5	豊科南中学校長	原田 邦彦
6	社協豊科支所ボランティアコーディネーター	佐藤 朋子
7	主任児童委員	山田 薫

■ 会議概要

- ・学校ボランティア活動に関する活動報告(部活の見守り・福祉の学習、挨拶運動)
- ・地域の将来を担う子どもたちについて地域が学校と考えなければならない。
- ・学校が目指す生徒の姿が地域が目指す子どもの姿と合っているのか。学校、学校運営協議会、PTAの三角形で子どもたちを育てていきたい。(学校)
- ・協働本部連絡会と学校運営協議会との違い、公民館の役割を明確に。(学校)
- ・地域に元々ある文化、伝統的な活動の中で子どもを育てていくために学校は何をすべきかを考えていくのがこの場ではないか。(学校)
- ・学校の先生は地域を知ることが必要。
- ・公民館が地域と学校に入って何ができるのか。(公民館)
- ・連絡会の活動は何かを新しく立ち上げるのではなく既存の活動の中で、例えばコロナ禍で実施困難となっていることを応援してもらうことではないか。(学校)
- ・地域の学校支援、子どもたちの地域活動、学校教育を通した中での地域づくり、地域の文化継承を担っていくことに尽きるのではないか。子どもを支援していく人たちからのスタートではないか。

(2) 豊科北中学校区学校協働本部連絡会

番号	所属	氏名
1	北小地域コーディネーター	赤羽 敦子
2	東小地域コーディネーター	三浦 好子
3	東小地域コーディネーター・主任児童委員	長崎 康成
4	北中地域コーディネーター	堀口 洋子
5	北中地域コーディネーター	佐藤 厚彦
6	豊科北小学校長	麻田 記良
7	豊科東小学校長	馬淵 勝己
8	豊科北中学校長	内川 雅信
9	社協豊科支所ボランティアコーディネーター	佐藤 朋子
10	主任児童委員	松田 稔

■会議概要

- ・学校ボランティア活動に関する活動報告(福祉の学習、挨拶運動。学校とボランティアを繋いでいる。)(社協)
- ・昔から地域が自然に学校を支えていた。負担を増やさない取り組みを。(公民館)
- ・ボランティア(家庭科)をして元気をもらった。
- ・地域力をどう高めるか。
- ・子どもたちの育ちを支えていただいている。福祉学習、自然学習、SDGs等。(学校)
- ・地域との連携はできている。(学校)
- ・人間関係力を育てていく環境が地域から失われているのではないか。(学校)
- ・学校づくりは協議会、地域づくりは連絡会。より良い地域をつくっていくのはどうしたらよいか今後参画することではないか。(学校)
- ・学校づくりは協議会、地域づくりは連絡会というコンセプトの確認をする必要がある。(学校)
- ・区長はどんな地域を目指しているか。構成メンバーを(区長を含めるなど)考えてはどうか。
- ・地域の現状の課題を知りたい。(学校)
- ・地域づくりは公民館にとっても大事な課題。(公民館)
- ・より良い地域づくりの視点で主体的にやっていくのがこの会の趣旨ではないか。(学校)

(3) 穂高地域学校協働本部連絡会 委員名簿

番号	所属	氏名
1	南小地域コーディネーター	柳川 哲郎
2	西小地域コーディネーター	望月 文規
3	西小地域コーディネーター	荒深 たつ子
4	北小地域コーディネーター	竹内 悦子
5	東中地域コーディネーター	中澤 みどり
6	西中地域コーディネーター	有賀 喜美子
7	穂高南小学校長	山崎 光信

8	穂高西小学校長	松下 玲
9	穂高北小学校長	小松 幹
10	穂高東中学校長	松尾 修
11	穂高西中学校長	濱野 久
12	社協穂高支所 支所長	大神 泉
13	社協穂高支所ボランティアコーディネーター	窪田 千賀
14	主任児童委員	高橋 玲子
	主任児童委員	荒深 たつ子(再掲)
15	主任児童委員	篠崎 富美子
16	社会教育委員	荻原 義重
17	社会教育委員	筒井 年恵
18	社会教育委員	柿本 豊

## ■会議概要

### ①取り組みと課題

- ・学校と地域が協働で目指す子ども像をともに作りあげる。
- ・東中は生徒の提案を先生方が取り上げ活動が始まる。
- ・ネットワークが大事。
- ・ボランティアが楽しんでもらえることがないと持続しない。(学校)
- ・子どもたちとのふれあいを楽しむことを広げていくのが大事(学校)
- ・地域から学校だけでなく、学校から地域へもお返しをしたい。(学校)
- ・親、教師以外の大人が関わる場が少ない。子どもたちの将来にかかわっていくと考える。
- ・中学生はいろんな力を持っている。活動させていただきたい。(学校)
- ・見守り、気づき、繋ぎ、温かな子育てを目指す。
- ・支援が必要な子、学校へ行きたくない子が増えている、どう支援をするか。
- ・学校の敷居を下げるようにしたい。学校、家庭、地域真ん中に子どもたちを置いてどのようにアタックしていくか。

### ②連絡会のありかた

- ・地域、外部から講師が入ればいろいろなことができる。
- ・(総合的な学習の時間では)課題解決的に学習することは明確になっている。(学校)
- ・体験が大切。地域で受け入れ、密接につながっていくことが大切。
- ・(総合的な学習の時間では)「安曇野の時間」としてどんな学びができるか研究している。(学校)
- ・活動内容を地域の人に知らせてほしい。
- ・地域の方々が活躍することで地域おこしになる。

### ③地域コーディネーターについて

- ・情報収集が必要。
- ・人数を増やして欲しい。

- ・人材ネットワーク組織づくりは難しい。バックアップする。(学校)
- ・特別支援学級の児童との関りで参加することがある。
- ・子どもたちの声等を取り入れ地域につなげていきたい。
- ・声かけをし、防災にも力を入れる。
- ・地区公民館長、区長会などのネットワークづくりができるか。
- ・地域・人材のネットワークの構築、コーディネーターの増員、情報の収集交換等の必要性(公民館)
- ・連絡会は情報交換の場、地域と学校が結びついていく場として開催していく。(公民館)

(4) 令和4年度 三郷地域学校協働活動本部連絡会 委員名簿

番号	所属	氏名
1	三郷小学校長	西川 友人
2	三郷中学校長	沓掛 隆
3	三郷こども園代表	外山 實代
4	社会福祉協議会三郷支所長・三郷児童館長	百瀬 宏明
5	ボランティア担当係長	山岸久美子
6	三郷児童館係長	森下 真義
7	ボランティアコーディネーター	溝端 桃子
8	三郷交流学習センター所長・三郷図書館長	富田 昌彦
9	三郷地区民生児童委員協議会 会長	布山 昌徳
10	主任児童委員・三郷小地域コーディネーター	伊藤 可主也
11	主任児童委員	伊藤 政江
12	三郷小地域コーディネーター	布山 清保
13	三郷中地域コーディネーター	池田 安宏
14	三郷中地域コーディネーター	三澤 晴男

■ 会議概要

① 学校ボランティア活動に関する活動報告

- ・児童館でお年寄りへのメッセージを書いていただいた。(社協)
- ・ふれあい祭り等開催時に児童生徒に来ていただいている。
- ・図書館では中学生の職場体験学習を受け入れた。
- ・登下校の見守り、児童館までの付き添い。
- ・交通安全見守り、総合的な学習、クラブ活動、音楽会(学校)
- ・学校グランドデザインの中に総合的な学習の時間・地域学習会・朝の自主練習等を記載。(学校)

② その他

- ・三郷地域は小、中、未就園児を含めた地域づくりをしていきたい。(公民館)
- ・民生委員が子どもたちを通してつながることは難しい。つなぎ役をしたい。
- ・子どもたちに地域を知っていただくことが三郷を愛するベースとなるのでは。
- ・総合的な学習について中学校と情報交換したい。小学校で大事にしていたものを中学校でいかに

伸ばすか。

・地域が中学生を地域に呼んで地域の学習をしているのは三郷だけでは。ボランティアのネットワークができればよい。

・三郷こども園・三郷小中学校の三郷公民館活動協力依頼計画(案)の説明(公民館)

・ボランティアがどうしたら育つか。できることは何かを出し合う必要がある。

(5)令和4年度 堀金地域学校協働本部連絡会 委員名簿

番号	所属	氏名
1	堀金小地域コーディネーター	平倉 重則
2	堀金小地域コーディネーター	猿田 みさ子
3	堀金中地域コーディネーター	丸山 一雄
4	堀金中地域コーディネーター	山口 敏夫
5	堀金認定こども園 園長	平川美智子
6	堀金小学校長	内山 一好
7	堀金中学校長	堀金 猛
8	堀金地域主任児童委員	宮澤 純子
9	堀金地域主任児童委員	青柳 温男
10	子育て支援主幹係長	上兼 裕
11	社会福祉協議会 本所	山岸 久美子
12	社会福祉協議会 堀金支所	千國 朋子
13	堀金児童館	中越 玲貴
14	堀金図書館長	伊藤 和子

■会議概要

・安全安心な居場所づくりのためのボランティア。宿題を見る、机をつくるお手伝いをするボランティアが欲しい。(児童館)

・環境整備(草刈り)、配慮を必要とする児童のボランティアが欲しい。(学校)

・配慮を必要とする児童のボランティアが欲しい。(学校)

・消毒ボランティアをしていただいた。(こども園)

・定期的なボランティアは確保が困難。ボランティアの交通手段に課題。高齢者が学校に集まる仕組み作りが必要。

・地域のグループと学校をどう結び付けるか。ボランティアを広げることが必要。

・ボランティアと業務の境界(無償、有償)をどこにするか。(社協)

・「結び、つなげる」ことがキーワード(公民館)

・地区と学校を結ぶのは区ではないか。

・継続したボランティアには予算が必要であり、企業の寄付などを考えていけばどうか。

・地域リーダーの養成も必要。

・障害を持った方によるボランティアはどうか。(社協)

・学校での大人の居場所が必要。

- ・保護者の参加が必要。
- ・学校になぜ気楽に入れないのか。学校と地域住民が親しくなる関係づくりが必要。
- ・地域の人と子どもの個の繋がりががない。

(6) 明科地域学校協働本部連絡会 参加者一覧

番号	所属		氏名
1	明南小学校	学校長	竹内 幸浩
		教頭	松田 透
2	明北小学校	学校長	高野 恵理
		教頭	山口 敬之
3	明科中学校	学校長	阿部 悦夫
		教頭	久保田 岳秀
4	明科高等学校	学校長	松村 真一
		教頭	堀内 雅司
5	明科南認定こども園 園長		西村 由夏
6	明科北認定こども園 園長		塚原 理恵
7	明南小地域コーディネーター		加々美 加美雄
8	明北小地域コーディネーター		久保田 剛生
9	明科中地域コーディネーター		山崎 芳實
10	社会福祉協議会明科支所ボランティアコーディネーター		奥原 めぐみ
11	明科児童館	担当係長	松澤 豊
		児童厚生員	平林 紀子
12	明科地域民生児童委員主任児童委員		丸山 篤子
13	明科地域民生児童委員主任児童委員		小林 富士夫
14	明科地域子ども会育成会 会長		久保田 慶子
15	明科地域青少年育成市民会議 会長		加々美 加美雄

■ 会議概要

① 学校ボランティア活動に関する活動報告

- ・1年生の登校指導をしていただいている。クラブ活動、ボランティア活動が対象となるのでは。学校を地域で支えてもらう。(学校)
- ・あやめ祭り美化活動。
- ・サポート体制はできている。クラブ活動、授業のサポートをしていただいている。(学校)
- ・朝の自主練習の見守りをしていただいている。生徒会の地域美化活動等。地域を学んで明科に戻るような活動。地域の課題を聞きたい。「安曇野学」に関する学ぶ素材の発掘など。(学校)
- ・料理教室、福祉をテーマに地域につながる活動をしている。(社協)
- ・子育て支援事業、キッズパークの登録者が減っている。(児童館)
- ・通学路の安全。

②その他

- ・コロナ禍の中、人材のネットワークが無い。
- ・情報発信、人材の紹介をしていきたい(公民館)

<b>報告第3号</b>	教育部 生涯学習課
令和4年9月29日提出	(課長) 深澤 与志章 (担当係長) 遠藤 豊

タイトル	市教育委員会による旧統一教会関連団体への後援について
決定を要する事項の内容	
要旨	旧統一教会関連団体への後援が確認されました。
説明	<p>1 経過</p> <p>旧統一教会に関連した問題が顕在化してきたことに伴い、これまで教育委員会が共催・後援した事業を調査しました。</p> <p>① 調査対象期間：令和元年度以降                  ② 調査内容：共催・後援事業と旧統一教会の関わりに関連する調査</p> <p>2 調査結果</p> <p>令和3年度に後援した事業1件について該当していることが確認されました。</p> <p>3 調査結果の公表</p> <p>令和4年9月6日(火)に調査結果を報道機関にプレスリリースし公表しました。※裏面参照</p> <p>■公表内容</p> <p>安曇野市教育委員会が承認した後援</p> <p>件名 女子留学生日本語弁論大会第20回長野県大会                  申請者 WFWP(世界平和女性連合)長野第二連合会                  主催者 WFWP女子留学生日本語弁論大会長野県大会実行委員会                  後援 公益社団法人 信濃教育会                  市民タイムス</p> <p>開催日 令和3年6月19日(土)                  場所 穂高交流学習センターみらい                  後援の承認 令和3年4月27日開催 安曇野市教育委員会                  令和3年4月定例会</p> <p>4 補足事項</p> <p>平成29年度以降、他に該当案件は見当たりませんでした。</p>





## 旧統一教会関連団体への後援について

安曇野市教育委員会では、旧統一教会関連団体への共催・後援について、過去に遡り確認をしたところ、該当する後援が1件ありましたので、報告いたします。

内容は、「留学生に自分の夢・思い・願いを日本語で語ってもらう」という、女子留学生による日本語弁論大会でした。

今後、共催・後援の承認にあたっては、事業内容は勿論のこと申請者、主催者、協賛者等の情報についても慎重に調査・検討します。

### 記

#### 【安曇野市教育委員会が承認した後援】

件名 女子留学生日本語弁論大会第20回長野県大会  
申請者 WFWP（世界平和女性連合）長野第二連合会  
主催者 WFWP 女子留学生日本語弁論大会長野県大会実行委員会  
後援 公益社団法人 信濃教育会  
市民タイムス  
開催日 令和3年6月19日（土）  
場所 穂高交流学習センター みらい  
後援の承認 令和3年4月27日開催 安曇野市教育委員会令和3年4月定例会

問い合わせ

長野県安曇野市 教育部 生涯学習課 社会教育係 : 課長 深澤与志章 担当 係長 遠藤 えんどう

<b>報告第4号</b>	教育部 各課
令和4年9月29日提出	

タイトル	後援依頼の教育長専決分の報告について						
報告を要する事項の内容	教育長専決に伴う報告						
要旨	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">学校教育課</td> <td style="text-align: right;">2件</td> </tr> <tr> <td>文化課</td> <td style="text-align: right;">7件</td> </tr> <tr> <td>子ども家庭支援課</td> <td style="text-align: right;">4件</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(詳細別紙)</p>	学校教育課	2件	文化課	7件	子ども家庭支援課	4件
学校教育課	2件						
文化課	7件						
子ども家庭支援課	4件						
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】</p> <p>(定義)</p> <p>第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第1項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事（団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。）</p>							

学校教育課 共催・後援台帳(令和4年度9月定例会専決事項)

№	受付日	年度	年度	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(再決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	R3	R2	R1	所管課意見
24	R4.8.24	教育総務課	R4	安曇野の子どもを語る会	安曇野市教育会 (会長:西川 友久)	安曇野市教育会	後援	市教育委員会の二後援により、安曇野市の子どもたちを健全育成をめざし、様々な立場で情報・意見交換をすすめていくため	8月23日	令和4年10月15日(土) 9:00~12:00	○	過去承認	○	8月26日	南安曇野教育文化会館	「青少年の健全育成は、かつていくために、学校・各団体・諸機関が連携を取りながら、学校・家庭・地域の教育力をどう高めていったらよいか」について考える機会とする	参加費・無料 時間:17:00~19:00 場所:安曇野市の子どもを育てる会(安曇野市)1号館 参加者:保護者、教員、関係者 参加費:無料 申込:不要 問い合わせ:安曇野市教育会(026-262-1111)	-	○	○	基本第3条第2項及び第4条第2項より可
26	R4.9.1	教育総務課	R4	学社連携・協働フォーラム	長野県中継教育専務所 (所長:青木 淳)	長野県教育委員会 中継教育専務所	後援	市内の学校教職員及びPTA関係者等へ参加を呼びかけるため	8月30日	令和4年11月26日(土) 12:50~15:45	○	県教委主催及び過去承認	○	9月2日	長野県総合教育センター 1号館	子ども達を豊かに育てるために、学校・家庭・地域それぞれができることを考え合い、より良い連携・協働のあり方を共有する機会とする	参加費・無料 時間:10:00~14:00 場所:西郷 雅英(文部科学省総合教育政策局 地球学習推進課) 申込:不要 問い合わせ:「協働活動」はじめの一歩、次への一歩」(14:15~15:15)	○	○	○	基本第3条第1項第1号、第4条第1号及び第2号より可

教育部 文化課 共催・後援台帳(令和4年度 8月定例会報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者 (団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	R3	R2	R1	所管課 意見
39	R4.8.22	文化	安曇野かかし会 作品展示会	安曇野かかし 会	安曇野かかし会	後援	安曇野市の芸術、文化に参加し、協力している為。	8月22日	10月7日(金)~10月10日(月) 午前9時~午後5時	○	過去承認		8月23日	碓氷公園研 成ホール	安曇野市、地域社会の芸術文化に協力する為、さまざまな作品を展示し大勢の方々に鑑賞して頂き地域の発展に協力したい。	水彩、油絵、彫刻、版画等の作品展示。入場料、参加料無料	○	○	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
40	R4.8.25	文化	穂高美術協会展	穂高美術協会	穂高美術協会	後援	安曇野地域の文化活動の向上に貢献したい。	8月25日	10月14日(金)~10月18日(火)	○	過去承認		8月25日	碓氷公園研 成ホール	地元に住む作家の絵画を鑑賞して頂く機会を持ち、多くの方々に関心を寄せてもらうことで芸術文化の価値を知っていただく。	展覧会。入場料、参加料 無料	○	○	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
43	R4.9.1	文化	第48回松本深志岳風会吟遊大会	松本深志岳風会	松本深志岳風会	後援	芸術文化の発展に協力いただきたい。	9月1日	10月30日(日)9時30分~15時30分	○	過去承認		9月5日	キッセイ文化 ホール	詩吟の発表・コンクール	独吟、合吟、立体時による吟詠を行い、日々の練習の成果を発表する。またコンクールでは発表元に審査をし、優秀者へ表彰を行う。入場料参加料:無料	○	-	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
44	R4.9.5	文化	第3回 わくわくキッズコンサート「みらい」	「ホット」演劇協会	「ホット」演劇協会	後援	多くの方にコンサートにお越しいただきたい	9月2日	12月2日(金)10時30分~	○	過去承認		9月8日	安曇野市穂高文芸学習センター「みらい」多目的交流ホール	子連れでコンサートに行かれない方や、小さいお子さんがいて夜のコンサートに行かれない方の為に昼間にコンサートを行い、音楽に触れてほしい。	ヴァイオリン&ピアノ チュオコンサート 入場料参加料:無料	○	-	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
45	R4.9.5	文化	第49回 わくわくキッズコンサート	「ホット」演劇協会	「ホット」演劇協会	後援	多くの方にコンサートにお越しいただきたい	9月2日	10月24日(月)10時15分~、11時30分~	○	過去承認		9月8日	松本市庄内地区公民館 大会議室	子連れでコンサートに行かれない方や、小さいお子さんがいて夜のコンサートに行かれない方の為に昼間にコンサートを行い、音楽に触れてほしい。	ヴァイオリン&ピアノ チュオコンサート 入場料参加料:無料	○	-	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可

教育部 文化課 共催・後援台帳(令和4年度 8月定例会報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者 (団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	R3	R2	R1	所管課 意見
46	R4.9.6	文化	安曇野吹奏楽団 クリスマスコンサート	安曇野吹奏楽 団	伊澤昭人	後援	より多くの皆様 への周知を図る ため	9月6日	12月25日 (日)午後1 時30分開 演	○	過去承 認		9月8日	安曇野市豊 科公民館 ホール	地域密着の団体として、吹奏楽 を通して地域の皆様に様々な音 楽を楽しんでいただくためのコン サートを企画・実施	曲目校正・親しみのある曲やケリ スマスピングなど演奏予定(2部 構成)・アンコール 出演者:安曇野吹奏楽団(35名) 入場料参加料:無料	-	○	○	基準 第3条 第2項 及び 第4条 第2号 により 可
47	R4.9.6	文化	第34回 桐朋スプリ ングコンサート	桐朋学園 長中 野桐朋会 演習支部	中村泰幸	後援	安曇野市出身学 生の応援のため に多くの方に周 知をするため	9月5日	令和5年3 月21日 (火・祝)	○	過去承 認		9月8日	松本市音楽 文化ホール (小ホール)	桐朋学園(高校、大学)学生の演 奏、発表会の為のコンサート	長野県中南信地区出身の学生7 名による演奏会 入場料:500円 参加料:37,000円(学生保護者の 分相分)	○	-	-	基準 第3条 第2項 及び 第4条 第2号 により 可



# 報告第5号

## 令和4年度 事業進捗状況報告（懸案事項等）

<学校教育課>

学校教育担当

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
就学時健診業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和5年度の新入学予定児健診</li> <li>9/14（水）【眼科】三郷南部</li> <li>9/21（水）【眼科】有明の森</li> <li>9/29（木）就学時健診（穂高北・明南・明北小）</li> <li>※穂高会館合同実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和5年度の新入学予定児健診</li> <li>10/6（木）就学時健診</li> <li>（穂高南・穂高西小）</li> <li>※穂高会館合同実施</li> <li>10/11（火）【眼科】堀金</li> <li>10/21（木）【眼科】穂高、穂高幼稚園</li> <li>10/27（木）就学時健診</li> <li>（豊科北小）</li> </ul>
GIGA スクール構想	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT 活用支援</li> <li>・各学校の授業支援</li> <li>・GIGA スクール運営支援センター事業による支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT 活用支援</li> <li>・各学校の授業支援</li> <li>・GIGA スクール運営支援センター事業による支援</li> <li>○ICT 教育推進委員会</li> <li>ICT を活用した授業の授業公開</li> </ul>
就学援助事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新入学予定者名簿（中学校）の作成</li> <li>・就学指定校変更の案内</li> <li>※以降、諸異動の随時反映、学校への連絡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新入学予定者名簿（中学校）の作成</li> </ul>
安曇野市 コミュニティスクール事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ACS 事業広報</li> <li>・イオン豊科店デジタルサイネージ表示（～R5.3まで）</li> <li>○地域学校協働本部連絡会</li> <li>・9月5日 明科地域</li> <li>・9月7日 三郷地域</li> <li>○堀金地域教育関係者連絡会</li> <li>・9月7日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校運営協議会運営支援</li> <li>○地域学校協働活動支援</li> <li>○社協連携事業（朗人大学）</li> </ul>
就学事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援教育就学奨励費</li> <li>・認定審査</li> <li>○就学援助費</li> <li>・前期支払いに係る調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就学援助</li> <li>・調査に基づく変更</li> <li>・前期分支払い</li> <li>○特別支援教育就学奨励費</li> <li>・前期支払に係る調査</li> <li>・調査に基づく変更</li> </ul>
学校安全支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通事故0「ゼロ」プロジェクト</li> <li>・9月21日（水）から10月20日（木）まで</li> <li>○学校安全総合支援事業</li> <li>・9月8日（木）三郷中 防災アドバイザー派遣</li> <li>・9月12日（月）穂高東中 防災アドバイザー派遣</li> <li>○第1回安曇野市交通安全推進協議会</li> <li>・9月20日（火）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通事故0「ゼロ」プロジェクト</li> <li>・9月21日から10月20日まで</li> <li>○学校安全総合支援事業</li> <li>・10月24日（月）三郷中 防災アドバイザー派遣</li> </ul>

学校給食担当

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
給食センター総務費	○給食費改定の必要性について調査・検討を行う	○R5年度に向けた給食費改定の必要性について調査・検討を行う
学校給食費会計公会計化事業	○給食費管理システムによる給食費の口座振替の実施 ・振替データ作成 ・金融機関へデータ伝送	○第5期（9/30）の給食費口座振替に向けて準備作業を行う
各給食センター管理運営事業	○所管する学校へ安全・安心でおいしい給食が提供できるように、施設及び調理環境の整備を行う	



# 令和4年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育係

## 社会教育総務費事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
生涯学習推進計画		10月12日（月）生涯学習推進市民会議

## 生涯学習推進費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
学校開放講座	9月8日（木）～全5回サッカーを楽しもう！（明科高校）	
市民大学講座（信大編）	9月1日（木）第3回「ジオパークで学ぶ防災」 9月8日（木）第4回「花粉症と食物アレルギー」 9月15日（木）第5回「だまされる心の心理学」	
日本語教室	豊科9月4日（日）9月11日（日）9月25日（日） 穂高9月3日（土）9月10日（土）9月17日（土） 9月24日（土） 堀金9月4日（日）9月11日（日）9月18日（日） 9月25日（日） 三郷（休講中）	豊科10月2日（日）10月16日（日） 10月23日（日）10月30日（日） 穂高10月1日（土）10月15日（土） 10月22日（土） 堀金10月2日（日）10月9日（日） 10月16日（日）10月23日（日） 三郷（休講中）

## 中央公民館事業費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
公民館長・主事会	9月12日（月）第6回公民館長・主事会議	
公民館報	9月21日（水）館報第65号発行	
総合芸術展		10月11日（火）第2回実行委員会
安曇野アカデミー	9月29日（木）第1回「私の終活宣言」～全部お任せでいいですか？～	10月6日（木）第2回「安曇野の住まい」～なくてはならない空間～ 10月13日（木）第3回「食と暮らし」～食べることの視点から安曇野をみる～ 10月20日（木）第4回「暮らしの中のまじない、禁忌」 10月27日（木）第5回「安曇野の生活と祈り」
二十歳の集い	9月12日（月）第1回実行委員会	

# 令和4年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課豊科生涯学習係（豊科公民館）

## 豊科公民館事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
豊科地域さわやか市民運動会	「とよしな de ロゲイニング」としてロゲイニング大会を開催することを決定。 9月上旬 各区で参加者募集の文書を回覧 ・公民館窓口、ファクスで申込書を受付 ・ながの電子申請サービスで申込を受付 9月6日(火) ANC アリナ(カート・ゴール)下見兼打合せ 9月10日(土) 事務局職員でロゲイニングを知る機会として「松本あめロゲイニング」に参加(主催者からの招待による)。	期日 10月16日(日)午前8時30分競技スタート
ふるさと探訪講座	9月14日(水)「文化財マップ巡り」 豊科地域の文化財を徒歩で巡る。 講師 中澤 宏晃さん(歴史愛好家) 受講者 12人 9月28日(水)「安曇野道祖神散歩」 三郷地域の道祖神をバスで巡る。 講師 窪田 雅之さん(松本市文書館職員)	
楽しい菊作り講座		第6回 10月12日(水)「輪台取り付けと冬至芽の管理」
第18回豊科地域文化祭 (10月29日から11月13日)		
芸能発表会	9月22日(木) 芸能発表会実行委員会(プログラム編成会議)	11月3日(水)の開催に向けて準備を進める。
作品展示	出展者を募集 締切9月16日(金)	1 会場 きぼう 期間 10月28日(金)から30日(日) 2 会場 豊科公民館 期間 11月11日(金)から13日(日)
菊花展		10月28日から11月3日 菊づくり講座で育てた菊を豊科地域文化祭に出展。
短歌大会		11月5日(土)に向けて準備を進める。
俳句大会		11月6日(日)に向けて準備を進める。

## 豊科公民館施設管理運営事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
豊科公民館・ホール	9月5日(月)交通安全管理者講習【ホール対応】 9月9日(金)から11日(日)健康推進課 こころの健康を考えるつどい【ホール対応】 9月16日(金)から18日(日)文化課 あづみ野シネマ日和【ホール対応】※本番17日(土)、18日(日) 9月23日(祝・金)から24日(日)劇団エル 演劇公演【ホール対応】※本番24日(日)	

# 令和4年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課穂高生涯学習係（穂高公民館）

## 穂高公民館事業費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
健康づくり講座	9月11日（日） スラックライン教室① 9月25日（日） スラックライン教室②	10月2日（日） スラックライン教室③ 10月16日（日） スラックライン教室④
季節の料理教室	9月6日（火） わさび漬け教室	
自然体験講座		10月14日（金） 中房方面自然観察会
趣味の講座		10月18日（火） 水彩画教室
文化教養講座	9月28日（水） 穂高の古墳巡り②	10月19日（水） 古文書公開講座
ICT講座	9月15日（木） 初めてのスマホ教室	
地区公民館対抗球技大会	9月15日（木） 公民館対抗ソフトバレーボール大会事前打ち合わせ 9月27日（火） 公民館対抗ソフトバレーボール大会代表者会議	
穂高地域文化祭		10月28日（木）から30日（日） 穂高地域文化祭

# 令和4年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課三郷生涯学習係（三郷公民館）

## 三郷公民館事業費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
まなび隊③	9月3日(土) 中央構造線見学 大鹿村他	
教養講座	9月4日(日) 安曇野人物誌②植原悦二郎 三郷公民館講義室	
三郷地域学校協働本部 連絡会	9月7日(水) 三郷公民館講義室	
文化産業展実行委員会	9月8日(木) 三郷公民館講義室	
ICT講座	9月25日(日) 地元でスマホ教室① 三郷公民館講義室 楡地区公民館・楡地区社協共催	
生きがい講座	9月25日(日) けん玉チャレンジ③ 三郷公民館講義室	
健康長寿講座	9月27日(火)28日(水) 睡眠教室 三郷公民館講義室	
ふるさとづくり講座		10月2日(日) 野沢地区ふるさと巡り
健康長寿講座		10月6日(木) エンディングノート教室 三郷公民館講義室
文化産業展		10月22日(土)23日(日) 三郷公民館講堂他
教養講座		10月27日(木) 自然教室② 三郷公民館講義室
菊花展		10月31日(月)～11月7日(月) 三郷公民館ロビー
ICT講座		10月30日(日) 地元でスマホ教室① 三郷公民館講義室 楡地区公民館・楡地区社協共催

# 令和4年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課堀金生涯学習係（堀金公民館）

## 堀金公民館事業費

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
拾ヶ堰めぐり	9月2日（金）拾ヶ堰各所 バス移動での現地見学会 参加者 7名	
満蒙開拓の歴史	9月5日（月）満蒙開拓平和記念館 施設見学と体験者の講話 参加者 15名	
楽しく学ぶ認知症予防講座 「最適なマイライフ&エンディングを考えよう」	9月13日（火）堀金公民館講堂 参加者4名	
スマホ講座	9月14日（水）堀金公民館会議室1 入門編、基本編、応用編の3講座 参加者延べ28名	
堀金のお宝発見講座「堀金の堰は奥深い！用水路講座」現地見学会	9月18日（日） 定員20名	
堀金のお宝発見講座「堀金の堰は奥深い！用水路講座」講演会	9月20日（火）堀金公民館講堂 定員60名	
拾ヶ堰サイクルツーリズム	9月23日（金・祝） 定員10名	
拾ヶ堰クリーン大作戦		10月6日（木）実施
市民運動会		10月16日（日）実施
堀金のお宝発見講座「古代における西山山麓堀金の姿」		10月17日（月）実施
堀金文化祭作品展		10月28日（金）～30日（日）実施
堀金文化祭芸能発表会		10月29日（土）実施

## 和4年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課明科生涯学習係（明科公民館）

### 明科公民館事業費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
スポーツ教室	9月7日（水） ワンバウンドマッチ②（奇数月開催）  9月10日（土） カヌー体験教室	
ふるさとたんけん隊		10月1日（土） ふるさとたんけん隊③ たかせ川たんけん
コンサート		10月10日（月） 爽りの秋コンサート ピアノ・ヴァイオリン・カホン 演奏
健康づくり講座		10月15日（土） 里山ウォーキング 押野山遊歩道を散策
ICT講座		10月13日（木） スマホ講座 ① インターネットを使おう ② Wi-Fi とオンラインサービス
料理教室		10月27日（木） 干し柿づくり講座 共催：あかしな農業塾
明科生活・文化講座	9月8日（木） 令和3年8月の記録的大雨における危機感共有と退避行動	
明科歴史探訪講座	9月15日（木） 大逆事件の26人（第1回）	

令和4年度事業進捗状況報告(懸案事項等)

〈文化課〉

文化振興担当

芸術教育普及事業

事業	現 況	今後の取り組み 備 考
美術館博物館年間 予定表	令和4年度 美術館博物館年間予定表 小中学生を同伴した保護者の入館料を無料とするパスポート の発行(全児童・生徒へ配布 (R4.4/22)) 7月利用者数:77人 8月利用者数:217人	
東京藝術大学によ るアーティスト・イ ン・レジデンス	令和4年度滞在:柴田早穂(金工) 滞在期間:8月23日(火)~9月5日(月) 展示:10月16日(日)~11月1日(火) みらい 一般向けワークショップ:9月3日(土) 11人 アウトリーチ:堀金中学校:9月4日(日) 34人	
ナガノオーガニッ クAIR	令和4年度滞在:...1[アマリイチ](ダンス) 第1期 8月15日(月)~17日(水)(リサーチ) 第2期 9月23日(金)~27日(火) ダンス アウトリーチ 穂高南小学校2年・4年9月26日(月) 第3期 9月30日(金)~10月3日(月) ダンス公演(早春賦音楽祭 10月2日(日)) 第4期 12月上旬	
0歳からのミニコ ンサート	9月14日(水)みらい 午前の部65人、午後の部56人 月岡穂南(サクソフォン)、澤村桜子(ピアノ)	
からたち日記上映 会	「からたち日記」上映会 9月17日(土) 豊科公民館ホール	
熊井啓映画上映会	「黒部の太陽」上映会・奥田瑛二トークショー 9月18日(日) 豊科公民館ホール	
被爆ピアノ演奏会	9月24日(土)「お母さんの被爆ピアノ」上映会 みらい 9月25日(日)被爆ピアノ朗読会&コンサート みらい 9月26日(月)被爆ピアノ演奏会 穂高西中学校 9月27日(火)被爆ピアノ演奏会 豊科南中学校	
美術館・博物館無料 開館	10月1日(土)・2日(日) 豊科近代美術館・田淵行男記念館・飯沼飛行士記念館 穂高陶芸会館・高橋節郎記念美術館・豊科郷土博物館 貞享義民記念館・穂高郷土資料館	
あづみのミュージ アムカード	安曇野市・池田町・松川村・大町市の一部の美術館・博物館 等の周遊を図る。(3/19配布開始) 7月の総配布枚数3,020枚、8月の総配布枚数3,156枚	

安曇野市ミュージアム活性化事業	文化庁 innovate museum 事業 採択 第1回実行委員会 9月1日(木) 第1回専門部会 9月15日(木) オンラインギャラリートーク/ギャラリートークリレー 学校ミュージアム/学芸員研修会等の実施	
-----------------	---	--

### 文化団体補助事業

事業	現 況	今後の取り組み 備 考
信州安曇野新能 主催 実行委員会	第31回信州安曇野新能 期日 8月20日(土) 会場 豊科公民館ホール 来場者数 459人 演目 舞囃子「熊坂」、能「松風」、狂言「茶壺」、半能「山姥」	
早春賦音楽祭 主催 実行委員会	第37回早春賦音楽祭本ステージ 9月11日(日) 穂高会館 参加者数 136人 第18回あづみの公園早春賦音楽祭 10月2日(日) 国営アルプスあづみの公園	
ちくに生きもののみ らい基金充当事業	9月1日(木) 穂高北小2年 有明山神社ほか 100人 9月6日(火) 豊科東小 四賀化石館 31人 9月9日(金) 豊科北小3年1組 鳥川溪谷緑地 29人 9月12日(月) 豊科北小3年2組 鳥川溪谷緑地 9月12日(月) 豊科北中 鳥川溪谷緑地 9月20日(火) 明南小 長峰山 9月21日(水) 豊科北小3年3組 鳥川溪谷緑地 9月26日(月) 穂高北小 天蚕センター 10月14日(金) 穂高西小 特別支援学級 田淵行男記念館 10月14日(金) 穂高公民館 中房 10月18日(火) 堀金小1年 国営アルプスあづみの公園	

### 文化振興総務費

事業	現 況	今後の取り組み 備 考
博物館協議会	令和4年度第2回 10月4日(火) 令和4年度事業中間報告について 会場 きぼう	
美術資料等選定委 員会(非公開)	令和4年度第2回 10月4日(火) 美術作品の寄贈等について	

### 指定管理施設の事業

事業	現 況	今後の取り組み 備 考
田淵行男記念館	田淵行男写真展「常念岳」(9/21~12/27) 堀勝彦写真展「樹々よ」(10/12~12/27)	
高橋節郎記念美術館	「高橋節郎とその系譜 うるしの芸術」(7/13~9/25)	



豊科近代美術館 穂高陶芸会館 飯沼飛行士記念館	常設展示	
-------------------------------	------	--

博物館係

郷土博物館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備考
収蔵資料整理	・収蔵庫内の民俗資料の整理 新市立博物館の整備に向けて、資料の所在や破損の有無を確認。	・進捗状況に応じて、旧三郷民俗資料館及び旧堀金歴史民俗資料館の資料整理も実施する。
企画展	・夏季企画展・安曇野市平和都市宣言10周年記念 「安曇野の戦争—郷土から戦場へ—」 会期：7月23日(土)～9月19日(日)	
講座等	(夏季企画展関連講座) ・ギャラリートーク 8月21日(日) 参加者：9人 ・講座「戦死者を祀る～郷土は戦死者をどう扱ったか」 期日：8月27日(土) 参加者：18人 (夏休み子ども講座) ・切り絵で楽しもう 期間：7月30日(土)～8月14日(日) 参加者：88人	(夏季企画展関連講座) ・ギャラリートーク 9月18日(日) ・講座「太平洋戦争末期の松本平への陸軍航空部隊の展開」9月17日(土)
職員派遣等	・環境課の自然環境保護を目的とする業務への協力	

新市立博物館整備事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備考
安曇野市バーチャルミュージアム	・市ホームページサブサイト「安曇野市バーチャルミュージアム」とFacebookページ「安曇野市教育委員会文化課」公開(令和3年3月1日～)	
コンパクト展示	・「古式ゆかしく～穂高神社遷宮祭～」 会期：7月28日(木)～9月30日(金) 場所：ほりで一ゆ～四季の郷 ・「みえる水、みえない水～安曇野を巡る地下水の秘密」 会期：7月6日(水)～9月20日(火) 場所：明科中学校	

郷土資料館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備考
穂高郷土資料館	県宝の縄文土器のほか、鐘の鳴る丘集会所紹介コーナー、	

穂高鐘の鳴る丘 集会所	農具や漁具、養蚕資料など民具を展示。	
----------------	--------------------	--

### 貞享義民記念館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
企画展示等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酒田千広 油彩画・スケッチ展 会期：8月9日(火)～8月21日(日) 参加者：170人</li> <li>・シルバーカフェ安曇野作品展 会期：8月27日(土)～9月11日(日)</li> <li>・第11回白鳥写真愛好会写真展 会期：9月15日(木)～9月25日(日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポテトプリント作品展 10月1日(土) ～10月16日(日)</li> <li>・第6回くらふとのわ・笑・和展 10月22日(土) ～10月30日(日)</li> </ul>
講座等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貞享騒動ふるさと学習講座② 期日：9月4日(日) 参加者：15人</li> <li>・古文書講座 期日：9月10日、9月24日、10月8日、10月15日(土)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨地講座「人権平和と学習講座」(松代象山地下壕ほか見学) 10月19日(水)</li> </ul>

### 文書館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
重要文書等収集・ 整理	公開資料点数 公文書 47,404 点、地域資料 46,705 点 (8月末現在) (8月新規点数/公文書 782 点、地域資料 251 点)	
企画展示等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安曇野市平和宣言制定 10 周年記念企画 「安曇野から平和を思う～上原良司生誕 100 年～」 会期：9月11日(日)～12月28日(水)</li> </ul>	
講座等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「烏川山入会絵図」の市民向け公開 期日：8月21日、8月28日(日) 参加者計：60人</li> <li>・講座「絵図を見て拾ヶ堰を歩こう」 期日：9月11日(日) 参加者：11人</li> </ul>	<p>(平和都市宣言 10 周年記念企画関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会「上原良春・龍男・良司三兄弟の資料を通して見る戦時下の『自我』」 10月23日(日)</li> <li>・講座(パネルディスカッション) 「今、安曇野から平和を考える」11月20日(日)</li> </ul>
市誌編さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「安曇野市誌民俗編・民俗資料編調査票」による民俗調査の実施。 地域の暮らしや習慣について、市民や市職員に調査票を配布し、回答を依頼。</li> </ul>	

## 白井吉見文学館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
講座等		・講演会 3月19日(日)

## 歴史文化遺産再発見事業(文化庁補助事業)

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
『明科の宝』『穂高の宝』『豊科の宝』の頒布等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明科及び穂高の『宝』は、配布終了。</li> <li>・『豊科の宝』は、豊科郷土博物館等にて無料配布中。</li> <li>・市ホームページを通じてPDF版を公開。また市内各図書館で閲覧、貸出が可能。</li> </ul>	
『三郷の宝』の刊行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月8日、文化庁の芸術文化振興費補助金(Innovate MUSEAM事業)へ応募。</li> <li>・8月19日、文化庁より芸術文化振興費補助金内定通知。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・執筆予定者へ執筆依頼。</li> <li>・『三郷の宝』印刷入札。 10月20日(木)</li> </ul>

## 文化財保護係

### 文化財保護・保全事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み
文化財補助事業事務	無形民俗文化財の保存伝承関係、文化財防災設備保守関係、等への補助事業事務	
文化財の保全管理等に関する事務手続きと協議等	県宝「光久寺薬師堂」の防災設備設置、市指定有形文化財小田多井神社本殿等の修理等の保護協議を実施	資金計画、業者、施工方法等の検討を進める
「安曇野の建造物」調査	信州大学工学部建築学科(梅干野研究室)との連携事業 ・市内神社の本殿調査、と昨年度調査した神社本殿の成果報告等を実施した(8月24日、25日、26日及び9月16日)	
文化財保護へ向けた啓発活動	いわれの地標柱等修繕事業	随時
文化財の無料公開	重要文化財「曾根原家住宅」・県宝「光久寺の文化財(木造日光菩薩立像・月光菩薩立像、薬師堂)」の無料公開を各9回実施	月一回の無料公開を実施 令和4年度(予定) 曾根原家 10回 光久寺 9回
地区の祭り実施状況調査	令和3年度に引き続き、調査票(アンケート)の配布により、お祭りの開催状況及び中止・縮小に至った経過の把握をすすめる(調査対象:指定文化財16件、未指定16件)	調査結果を市ホームページで公開予定



リサイクルフェア	中央図書館 期間：9月3日（土）～19日（月） 豊科・三郷・堀金・明科図書館 期間：9月3日（土）～11日（日）	
中央図書館 映画上映会	『荒野に希望の灯りをともす』 期日：9月9日（金） 場所：みらい	

# 令和4年度事業進捗状況報告（懸案事項等） 《子ども家庭支援課》

## 子ども子育て政策係

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
黒沢洞合自然公園整備事業		10月中旬 令和4年度第2回黒沢洞合自然公園整備検討委員会

## 子ども家庭相談担当

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
<p>【子ども発達支援相談室】</p> <p>○遊びの教室 （体・知覚・社会性を育てる手助けをする）</p> <p>○「親子であっぶつぶ」 （子どもの発達を助け、子どもとの関わりに困難を抱えている保護者向け個別相談）</p> <p>○ことばの相談日 （言語発達の躓きについて、初期の相談窓口として課題の改善、緩和を目指す。）</p> <p>○はいはいたっちの相談日 （乳児期の運動発達の躓きについて、早期支援を行い全体の発達を整える。）</p> <p>○子育てサポートプログラム （家庭や園生活の中で注意力や感情のコントロールや人とのかかわり方に苦手さを感じている子どもさんの保護者向け学習会）</p>	<p>○ 遊びの教室では、こあら穂高（9/5、9/30）、こあら堀金（9/12）、いるか穂高（9/20、9/27）、こあら穂高後期（9/26）、いるか穂高後期（9/26）と、9月は7回開催</p> <p>○ 「親子であっぶつぶ」 9月は、5回実施。</p> <p>○ ことばの相談日は、9月は、9/9、9/30の2回相談対応を行う。</p> <p>○ はいはいたっちの相談日は、9/2、9/16の2回実施。</p> <p>○ SSP学習会の開催は、全12回を予定しており、8月よりスタートした。 ・9/14（水）－穂高認定こども園 ・9/16（金）－三郷西部・三郷南部認定こども園</p>	<p>○各事業を、コロナ対策など感染症対策を取りながら毎月実施していく予定。</p> <p>○カンファレンスを行い、情報と方向性を明確にして支援を行う。</p> <p>○専門性を活かしながら、途切れない支援を目指し、継続支援をしていく。</p> <p>○ソーシャルスキルプログラムの学習会を通して、保護者支援をしていく。</p>

## 児童青少年係

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
青少年センター		10月26日（水） 青少年センター運営委員会
青少年体験事業		10月22日（土）、23日（日） 親子プログラミング教室
子ども会育成会		10月1日（土） 松本地方子ども会育成連絡会安全講習会、育成者講習会 10月6日（木） 市子ども会育成会連合会常任委員会
わいわいランド	【8月24日（水）から活動開始予定だったが延期】 ※レベル4以下で開催	

児童クラブ	児童クラブ入所説明会 9月1日(木) 堀金、5日(月) 明科、 7日(水) 穂高、9日(金) 三郷、 12日(月) 豊科 9月20日(火)～10月6日(木) 来年度申請受付	
-------	--	--

令和4年度事業進捗状況報告（懸案事項等） 《こども園幼稚園課》

保育幼稚園係

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
Wi-Fi 工事	9月下旬から10月中にかけ各園の設置工事を行う。	整い次第タブレット使用が開始されていく。
体験入園	10月18日（火）と19日（水）各園、来年度3歳以上児で入園予定のお子さんについて体験入園を実施する。 園の様子に慣れること、どんなことをするのか、入園を楽しむにする場としている。 また、保護者の相談などお聞きし、スムーズな入園へとつなげていく。	コロナが心配なところであるが、実施の方向で受付を開始している。
協会理事会（研修会）	10月21日（金）保育協会による講演会視聴研修を行う。 各園、園長を含め3名の参加。午前・午後2回実施。  講師 汐見 和恵先生 保育アドバイザー・保育ソーシャルワーカー 立教大学 社会福祉研究所客員所員 フレーベル西が丘みらい園 前園長 「コロナ禍の保育」について	



<b>報告第6号</b>	教育部 学校教育課
令和4年9月29日提出	(課長)太田 雅史 (担当係長)中村 正勝

タイトル	令和4年度 児童生徒の指定校変更及び区域外就学者
	安曇野市情報公開条例第5条第1項第2号、個人に関する情報で、特定の個人が識別され、又は識別され得るもので、個人情報保護に該当する案件として、非公開といたします。

<b>報告第7号</b>	教育部 学校教育課
令和4年9月29日提出	(課長)太田 雅史 (担当係長)白井 慎詞

タイトル	教育長報告
	安曇野市情報公開条例第5条第1項第2号、個人に関する情報で、特定の個人が識別され、又は識別され得るもので、個人情報保護に該当する案件として、非公開といたします。